



昭和47年・春のセンバツ高校野球大会のスコア

チーム	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
成章 (愛知)	1	0	2	0	0	0	0	0	0	3
諫早 (長崎)	0	0	4	1	0	0	0	0	x	5

36年前の戦い

遠く長かった甲子園への道…。その夢を叶え、成章高校が甲子園初出場を果たした36年前、当時は渥美半島中が盛り上がりました。6000人も応援団が甲子園にかけつけ、選手のプレーに一喜一憂しました。

1回に先取点を取り、3回表までリードする成章ペースの試合展開。しかし、強風などの不運もあって逆転を許し、そこから点を取ることができず、残念ながら負けてしまいました。

この借りを返すべく、成章ナインは36年越しのリベンジを誓つ…。



当時主将:鈴木尊さん

1番遊撃手
田原中学校出身

甲子園の試合では、あっさりと先取点を取ることができましたが、後半のチャンスで点が取れずに負けてしまいました。あそこで点が取れていれば…。また、宿舎に長嶋茂雄さんが激励に来てくれたことが思い出に残っています。今回は、出場するだけで満足しないで、ぜひ勝ってほしいです。



当時監督:山本昌彦さん

成章高校監督
・昭和42～52年

もう一回戦ったら勝つ自信がありました。やはり初戦を突破するのは難しかったです。初戦さえ勝てれば、後はトントンと勝つ可能性があったと思います。今回は、私が果たせなかった甲子園での勝利を手にし、前回歌えなかった校歌を、応援の皆さんと一緒に…という思いです。

選手らをバックアップ

今回の出場を支えるため、成章高校の同窓会やPTA、野球部OB会などが、2月2日に「選抜高等学校野球大会出場後援会」を発足しました。この日、同校で行われた発足会には、学校関係者を含む約70人が出席。今後の応援方法や壮行会の準備態勢、甲子園への応援バスなどについて検討されました。

後援会長には白井孝市さんが選任され、出場にあたり選手たちを全力でバックアップしたい。そして楽しく応援したい」とあいさつされ、地域を挙げての援護を誓いました。



後援会長就任のあいさつをする白井孝市さん(田原町)



セントファールには応援メッセージボードが設置され、市民の声がたくさん寄せられています。



越戸町
林嘉章さん

36年ぶりの出場おめでとございます。今まで練習してきた力を出し切って、がんばってください。1勝でも多く勝つことを願っています。



田原町
鈴木智さん

応援に行きます。優勝目指して成章魂でがんばれ！



南神戸町
白井千代子さん

しばらくぶりですが、成章OBとして、また、田原市民としてうれしいです。がんばってください。

がんばれー！

田原町
鈴木美愛ちゃん